

2025 夏休み 子ども科学教室

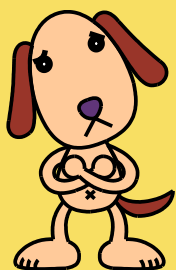
浮沈子・ふちんし・を作って遊ぼう



材料
ペットボトル容器
しょう油容器
ナット・クリップ
どんぶりなど

・ 浮沈子のつくり方

- ① お弁当用のしょう油容器のキャップをとりナットにつけ変える。
- ② どんぶりなどの大きめの容器の中でしょう油容器の空気を追い出し、ぎりぎりの状態で水に浮くようにしておく。
- ③ ペットボトルにほとんどいっぱいになるまで水を入れ、フタを固く閉める。
- ④ 両手でペットボトルを強く押さえるとしょう油容器が沈んでいく。
- ⑤ ペットボトルやしょう油容器に絵を描くなど、工夫して遊ぼう。



なぜ、浮いたり沈んだりするのでしょうか？

水中に空気の入った容器を沈ませると、空気の体積が大きいくらい浮きやすいという性質があります。ペットボトルを手で押すとその力がしょう油容器の中の空気に伝わり空

気は押しつぶされて体積が小さくなり、沈みやすくなるのです。

水中で生活している魚はおなかの中に浮き袋という器官があり、浮き袋をふくらませると浮き、しぼませると沈んでいきます。

夏休み子ども科学教室（無料）

■日時 令和7年7月19日（土）

10:00～11:30

■対象 小学2年～5年生（定員8名）

■内容 浮沈子を作りましょう。
ペットボトルを持ってきてください。

■場所 阿部科学教育アーカイブス
（津市中央5-14）

■申込方法 電話059-228-4746
または メール abekagaku@gmail.com
までお願いします。